

平成 23 年 10 月 25 日

都道府県医師会長 殿
郡市区医師会長 殿

日本医師会総合政策研究機構
所長 原中勝征

「第 8 回 日医総研地域セミナーの開催」について
(日本医師会総合政策研究機構・地域セミナーへの参加者募集のご案内)
- 病院・診療所・医師会館等建設における適正な発注方法と
建設セカンドオピニオンについて -

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日医総研では、平成 14 年度から病院や診療所等建設のコスト削減や、建設後の運営に際して安全で効率的な建物を建設するため、「建設セカンドオピニオン」の有効性と方法論について、ケーススタディを中心に研究を行って参りました。

そしてこの研究の結果、建設セカンドオピニオンによる建設コスト削減効果や、設計事務所や建設業者との契約において、発注者（医療側）の不利な状況が明らかになるとともに、これに対抗する方法等様々な研究結果が得られました。

そこで医師会員や医師会の担当者更には入会予定者の方々に、設計事務所の選定、設計事務所との設計・監理委託契約や、入札による施工業者の選定、及び施工業者との請負契約等において、発注者（医療側）が不利にならない方法を中心に、「第 8 回日医総研地域セミナー」を日医会館で平成 23 年 12 月 10 日(土)午後開催することと致しました。

今回は、研究成果を取りまとめた「建設セカンドオピニオン入門書」をご提供・解説するとともに、今後一層厳しくなる電力供給環境に対応した節電対策や、建設セカンドオピニオンを提供するために設立された、「一般社団法人 建設セカンドオピニオン医療機構」における、提供体制・提供方法についてもご説明させていただきます。

つきましては、別紙「第 8 回日医総研地域セミナー参加者募集のご案内」について、貴医師会会員及び担当者の方々に、ご案内頂きますようお願い申し上げます。

なお申込は、添付の「第 8 回日医総研地域セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、日医総研宛 FAX にてお送り下さいますよう、お願い申し上げます。

敬具

第8回 日医総研地域セミナー参加者募集のご案内

参加者募集の概要と申込方法等

主催：日医総研

テーマ：病院・診療所・医師会館等建設における適正な発注方法と

建設セカンドオピニオンの提供体制について

開催日時：平成 23 年 12 月 10 日(土) 1 時～4 時

場所：日医会館

(東京都文京区本駒込 2-28-16、電話番号/03-3946-2121)

募集対象：日医会員、医師会担当者及び入会予定者

募集定員：100 名

参加料：無料(交通費等は本会では負担致しません)

申込方法：参加希望者は添付申込用紙に以下の要件を記入し、日医総研宛て F A X
でお申し込みください。(一名一名用紙を換えて記入して下さい)

- ・参加者氏名(日医会員又は医師会担当者)
- ・所属医師会名
- ・連絡先住所・電話番号・F A X 番号
- ・所属機関名(役職)

なお、日医総研 F A X 番号は(03-3946-2138)です。

応募の締め切り：平成 23 年 12 月 7 日(水)

ただし、定員に達した段階で応募は締め切らせて頂きますので、ご了承をお願い致します。

受講可能な方への連絡等：受講出来る方には、事前に「参加証」を順次お送りしますので、当日必ずご持参ください。

本件問い合わせ先：日医総研・地域セミナー担当 畑仲

(電話番号/03-3942-6472までお願いします)

<開催プログラムと配布資料>

第一講演：医療機関等建築発注者のための建設セカンドオピニオン入門

～建築発注者が抱える問題から建設工事発注請負契約までの諸問題と

建設セカンドオピニオンの活用について～

第二講演：設計から建設発注までのチェックポイントと

「一般社団法人 建設セカンドオピニオン医療機構」の提供体制・方法について

第三講演：電力不足に対する節電対策

配布資料：

「医療機関等建築発注者のための建設セカンドオピニオン入門」

FAX 03-3946-2138

日本医師会総合政策研究機構 行き
(日医総研地域セミナー担当)

平成 年 月 日

第8回日医総研地域セミナー

(日本医師会総合政策研究機構・地域セミナー)

【開催日：平成23年12月10日(土)、日医会館】

参加申込書

参加申込者は、一人一人用紙を換えて記入して下さい。

1 参加申込者氏名： _____
(日医会員、医師会担当者及び入会予定者)

2 所属医師会名： _____ 都道府県 _____ 医師会

3 連絡先住所：
郵便番号 _____

4 連絡先電話番号： _____

5 連絡先FAX番号： _____

6 所属機関名： _____
役職名： _____

参考資料：第8回日医総研地域セミナー開催の趣旨

- 病院・診療所・医師会館等建設における適正な発注方法と

建設セカンドオピニオンの提供体制について -

病院・診療所や医師会館等建設におけるコスト削減や建物の安全性確保、更には建設後の運営に際して適切な建物を実現するためには、医療機関側に立った専門家による設計内容のチェックや建設見積額の査定等、建設に際しての適切な助言や資料提供等が大きく求められています。

しかし、これまでは本当に医療機関側だけに立って、専門的な視点から、病院等の設計内容や建設見積額等について、適切な助言等を行う方法や主体は存在してきませんでした。

そこで日医総研では日医会員のご協力により、平成14年度より医療機関側に立って専門的な視点から適切な助言等を行う、「建設セカンドオピニオン」の有効性の検証とその方法論のあり方について、ケーススタディを中心とした研究を行い前記課題に取り組んできました。

「建設セカンドオピニオン」の内容

新たな病院・診療所や医師会館等の建設や既存施設の増築、及び耐震・省エネ改修等において、建設費のコストベネフィットが高くかつ建物として安全で、建設後の運営も適切に行える施設等を建設するために、敷地選定の評価・助言、設計事務所の選定・企画競争(コパ)と契約への助言から始まって、基本計画・基本設計・実施設計の評価・助言、設計見積書の査定、建設業者の入札・契約への助言や、施工現場及び竣工時の各種チェックや助言等まで、経験豊富な専門家集団が医療機関側に立った意見を医療機関に提出することによって、適正な建設費や新築・改修計画の実現に資することを目指しています。

こうした研究を進める中、本来医療機関等発注者側に立つべき設計事務所が、必ずしも医療側に立っていないために、医療側が不利益を被ることが見られました。

このため、病院や診療所等の建設に際しては、設計事務所の「選定」や、設計事務所との「契約」、及び建設業者選定に際しての「入札業務」、更には建設業者との「契約」等に関する知識が発注者側に必要とされています。そして、発注者側に立った設計事務所との「契約書」や、建設業者に対する「入札要綱」、更には建設業者との「請負契約書」といった書式の整備も、必要なことが明らかになりました。また、診療所の設計・建設発注に際しても、同様なことが言えます。

このため日医総研では、医療側に立った設計事務所との「モデル契約書」や、建設業者選定の「モデル入札要綱」、更には建設業者との「モデル請負契約書」を作成し、コスト削減を実現するとともに、モデル契約書で概ね契約をすることが出来ました。

そこで日医総研では、医師会員や医師会の担当者及び入会予定者の方々に、これら研究成果をご理解して頂くため、表記のような「日医総研地域セミナー」を開催することとしました。

今回は併せて、今後一層厳しくなる電力供給環境に対応した節電対策や、建設セカンドオピニオンを提供するために設立された、「一般社団法人 建設セカンドオピニオン医療機構」における、提供体制・提供方法についてもご説明させていただきます。